

銘柄コード 7564

2019年3月期 第3四半期決算説明会



株式会社 ワークマン
2019年2月7日 開催

- ・第3四半期決算の概要P3~P9
- ・2019年3月期決算の見通しP10~P12
- ・取組み状況P13~P18
- ・第3四半期決算の詳細P19~P23

第3四半期決算の概要

2019年3月期決算の見通し

取組み状況

第3四半期決算の詳細

決算の概要1

第3四半期累計期間 4月～12月



<単位:百万円、%>

	2018年3月期		2019年3月期	
	第3四半期累計期間		第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	62,441	+7.3	73,026	+17.0
(既存店売上高)	—	+4.7	—	+14.3
営業総収入	43,500	+7.6	50,624	+16.4
販売費及び一般管理費	7,388	+8.9	8,622	+16.7
営業利益	8,503	+9.0	10,958	+28.9
経常利益	9,402	+8.4	11,887	+26.4
特別損失	6	△82.1	19	+191.1
四半期純利益	5,843	+7.8	7,363	+26.0
1株当たり四半期純利益	143円22銭		180円46銭	

<単位:百万円、%>

	2018年3月期		2019年3月期	
	第3四半期会計期間		第3四半期会計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	25,484	+12.2	31,175	+22.3
(既存店売上高)	—	+10.0	—	+18.6
営業総収入	17,464	+9.7	21,773	+24.7
販売費及び一般管理費	2,636	+10.5	3,266	+23.9
営業利益	3,910	+12.3	5,387	+37.8
経常利益	4,237	+11.8	5,721	+35.0
特別損失	—	—	5	—
四半期純利益	2,666	+9.3	3,540	+32.8
1株当たり四半期純利益	65円34銭		86円78銭	

第3四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 14店舗、閉店 3店舗、スクラップ&ビルド 2店舗
⇒新業態ワークマンプラス SC 2店舗、ロードサイド 2店舗 合計 4店舗
- 2018年12月末 832店舗
(2018年3月末比 +11店舗、2017年12月末比 +18店舗)

店舗運営形態

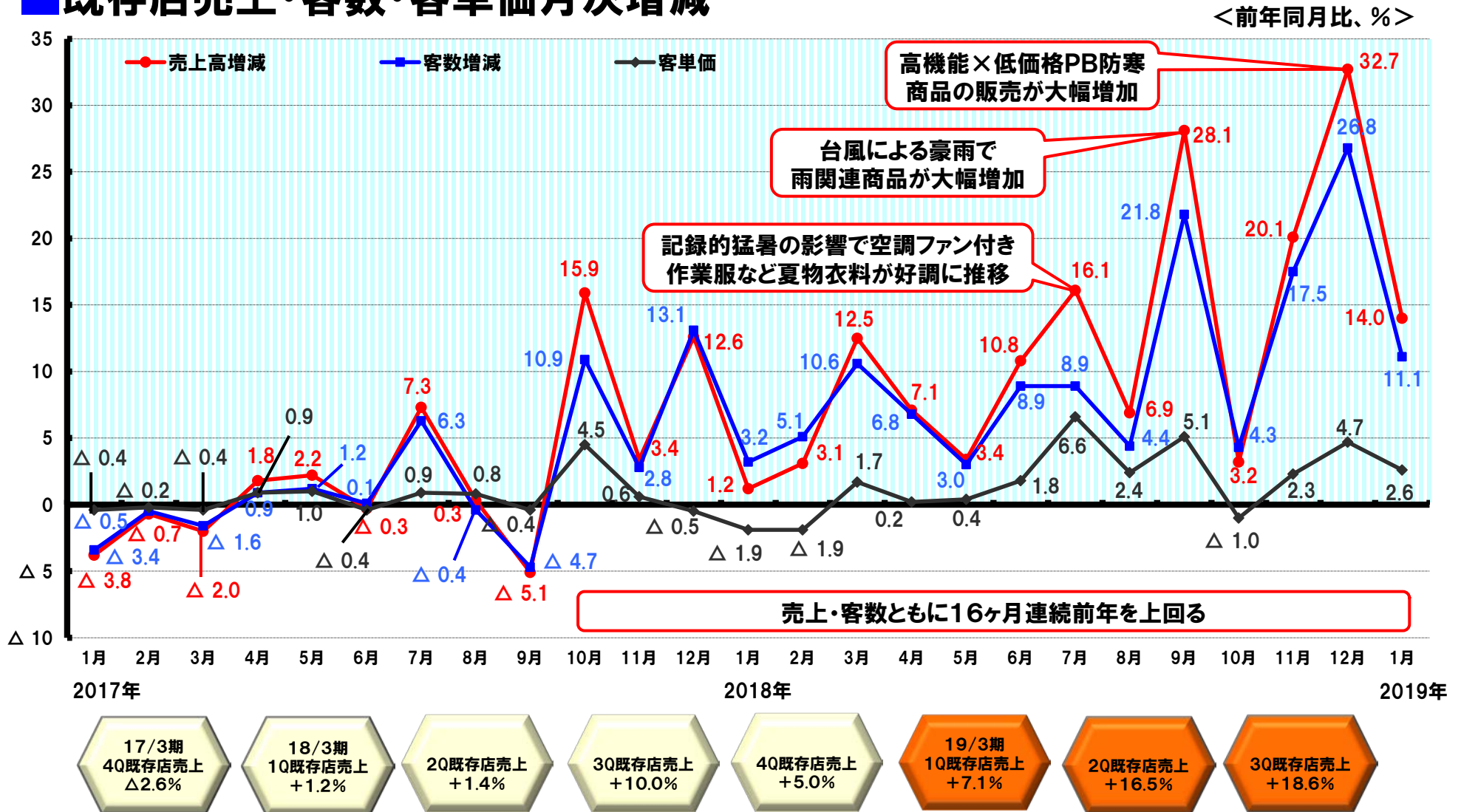
- フランチャイズ・ストア(FC店舗) 2018年12月末 727店舗(2017年12月末比 +35店舗)
- 直営店:業務委託店舗 77店舗、トレーニング・ストア 28店舗 合計 105店舗
- フランチャイズ・ストア比率 87.4%(2017年12月末比 +2.4ポイント)

販売強化

- 作業やアウトドアで着用可能な高機能ウェア「アルティメットフーデッドパーカー」、
「ストレッチマイクロウォームパンツ」などプライベート・ブランド(PB)商品 911アイテムを展開
・PB商品売上高 290億 59百万円(前年同期比+45.4%)、PB比率 39.9%
- ワークマンプラス出店を全国ネットのテレビCM、全国紙の広告掲載などによる大規模告知
- 来店客増加→女性客や初めて来店される一般ユーザーの割合が拡大

月次推移と要因

■ 既存店売上・客数・客単価月次増減

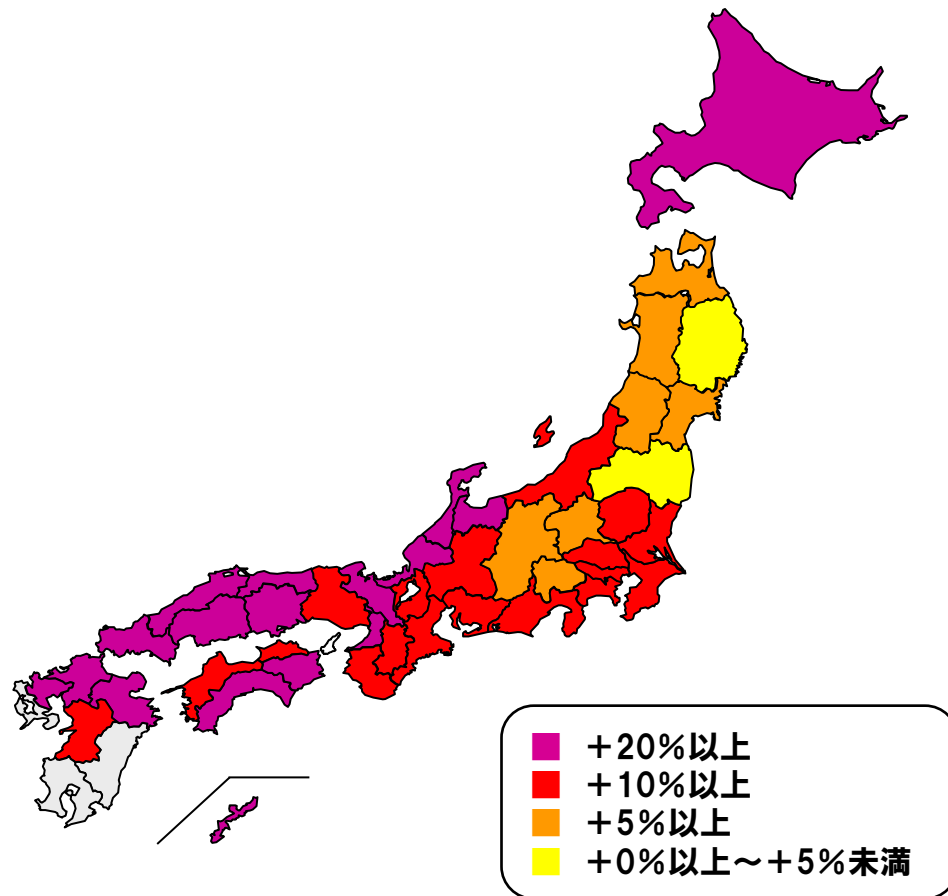


チェーン全店売上高 730億円

	チェーン全店	既存店
売上高	+17.0%	+14.3%
客数	+13.8%	+11.4%
1日当たり平均客数	—	124人 (+13人)
客単価	2,718円	2,716円
	+2.8%	+2.6%
1品単価	1,009円	1,004円
	41円	36円
1人当たり買上点数	2.7点	2.7点
	前年と同数	前年と同数

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しております。

■ 県別既存店前年同期比



商品別売上高と要因

■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2018年3月期 第3四半期累計期間		2019年3月期 第3四半期累計期間		要因
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・タイツ・帽子・タオル・ エプロン等	6,024	+5.3	6,853	+13.8	ショートソックス +20.6% 防寒靴下 +14.3% 防寒タイツ +51.4%
カジュアルウエア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネックシャツ・ ブルゾン等	7,515	+9.3	9,347	+24.4	スポーツ系防寒ブルゾン +22.5% 半袖Tシャツ +22.8% 長袖コンプレッション +15.8%
ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・蔦衣料等	19,077	+13.0	23,251	+21.9	空調ファン付き作業服 +172.5% 防寒ジャンパー +47.1% カーゴパンツ +41.8%
履物 安全靴・安全スニーカー・地下足袋・長 靴・厨房シューズ等	11,174	+0.7	12,199	+9.2	厨房シューズ +53.7% 長靴 +15.0% セーフティシューズ +5.8%
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・レインウエア・ ヘルメット・マスク等	16,822	+6.1	19,152	+13.8	レインウエア +30.3% 防水防寒スーツ +53.6% 作業手袋 +8.5%
その他 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・不織布作業服等	1,826	+3.6	2,222	+21.7	女性用レインウエア +75.7% 防寒女性衣料 +234.9%
合計	62,441	+7.3	73,026	+17.0	

第3四半期決算の概要

 **2019年3月期決算の見通し**

取組み状況

第3四半期決算の詳細

決算の見通し



<単位:百万円、%>

	2018年3月期		2019年3月期		
	金額	前期比	修正予想	前期比	期初予想
チェーン全店売上高	79,703	+7.3	91,871	+15.3	83,287
(既存店売上高)	—	+4.7	—	(+12.8)	(+3.4)
営業総収入	56,083	+7.7	63,956	+14.0	57,913
販売費及び一般管理費	9,864	+7.9	11,500	+16.6	10,133
営業利益	10,603	+11.0	13,061	+23.2	11,180
経常利益	11,856	+10.4	14,290	+20.5	12,385
特別損失	60	△37.4	30	△50.8	47
当期純利益	7,844	+9.8	9,510	+21.2	8,221
1株当たり当期純利益	192円24銭		233円06銭		201円48銭
1株当たり配当金	58円00銭		58円00銭		58円00銭

※2019年3月期通期の業績予想を、2019年2月6日に修正しております。

決算の見通しポイント

■ 通期業績予想を上方修正

通期チェーン全店売上高 918億円 前期比 +15.3%

・既存店売上高前期比 +12.8%

■ 経常利益 142億円 前期比+20.5%

当期純利益 95億円 前期比+21.2% ⇒8期連続過去最高益達成へ(純利益ベース)

■ ワークマンプラス今後の出店予定

・ ショッピングセンター

ららぽーと甲子園店(兵庫県) 3月21日開店予定

ららぽーと平塚店(神奈川県) 4月初旬開店予定

・ ロードサイド型

福岡和白店(福岡県) 3月14日開店予定

鳥栖店(佐賀県) //

練馬石神井店(東京都) //

広島温品店(広島県) 3月21日開店予定

・ 既存店改装

門司店(福岡県)、大阪水無瀬店(大阪府)、広島海田店(広島県)



川崎中野島店 11/8開店



等々力店 12/20開店

第3四半期決算の概要

2019年3月期決算の見通し

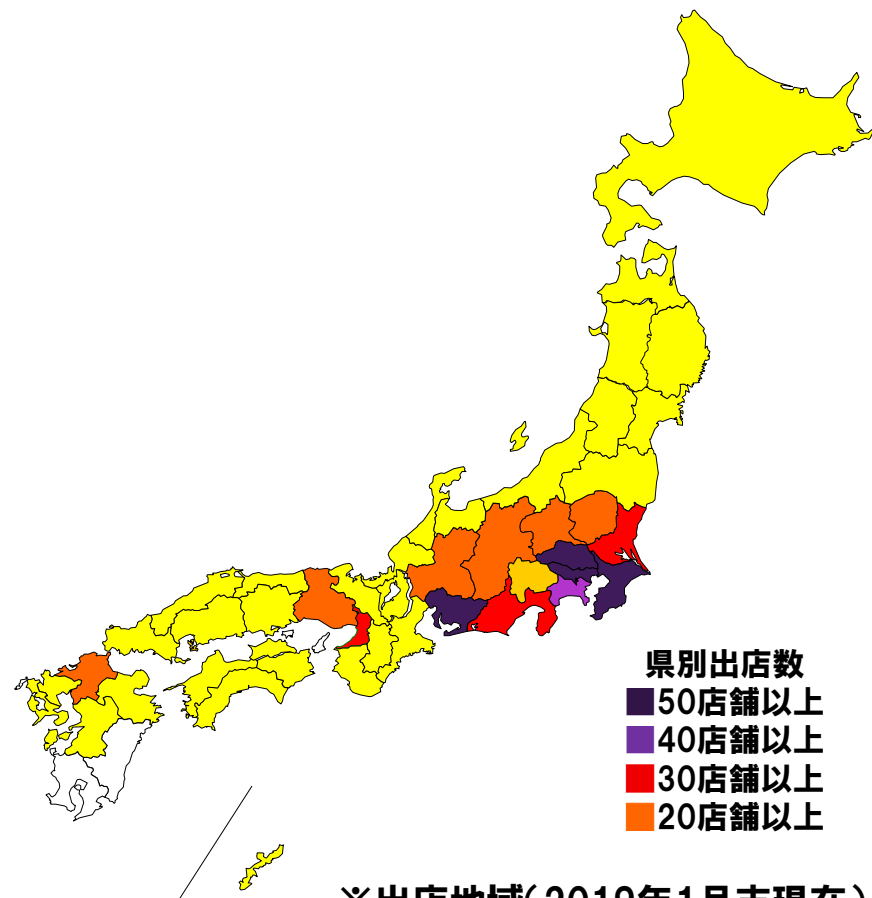
 **取組み状況**

第3四半期決算の詳細

2019年1月末 45都道府県に832店舗を展開

■ 出店状況 ※スクラップ&ビルド除く

	<店舗数>		
	4月～1月 出店実績	通期	来期開店予定 契約済物件
北海道・東北	3	3	3
関東	4	5	1
中部	1	1	3
近畿	0	0	3
中国	0	1	0
九州・沖縄	4	6	8
ショッピング センター	2	3	0
合計	14	19	18



県別出店数
 ■ 50店舗以上
 ■ 40店舗以上
 ■ 30店舗以上
 ■ 20店舗以上

※出店地域(2019年1月末現在)

フランチャイズ(FC)化の推進

個店売上の向上と加盟店契約の促進でフランチャイズ化を推進

2019年3月期

フランチャイズ・ストア(加盟店A契約)734店舗
前期末比+42店舗

フランチャイズ・ストア化状況

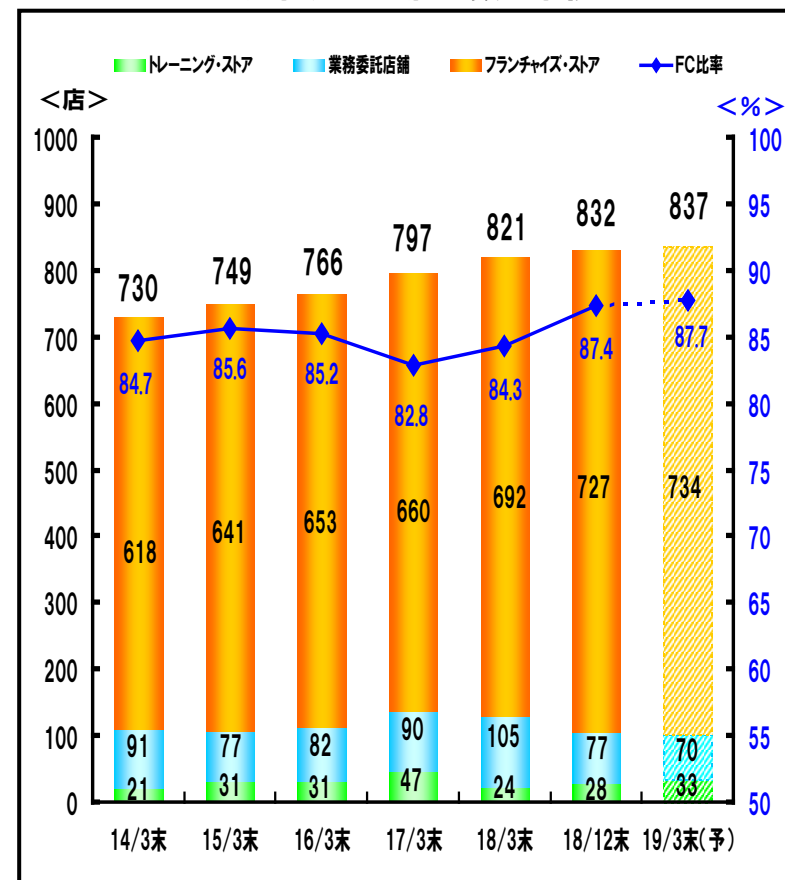
4月～12月の店舗運営形態の推移(開店含む)

	<店>		
	増加	減少	増減合計
フランチャイズ・ストア(FC店) (内業務委託契約からの変更)	+60 (41)	△25	+35
業務委託店舗(直営店) (内FC契約からの変更)	+16 (0)	△44	△28
トレーニング・ストア(直営店)	+33	△29	+4

※2018年3月末時点との比較

※原則的にショッピングセンターは直営店として運営

運営形態別店舗数の推移



法人企業向け営業強化

「Gx1.5プロジェクト」の推進でフランチャイズ・ストア平均年商1.5億円の実現

■本部による加盟店支援策 進捗状況

・法人向けワーキングユニフォーム販売実績(12月末時点)

⇒ 「Wインパクト」年間	前年同期比	12.6%増
「WM CRAFT」年間	〃	161.2%増
「WM COOL」夏用	〃	5.6%増
「WM STRETCH」夏用	〃	157.8%増
「遮熱Wメッシュ」夏用	〃	109.2%増

・9月からラインアップに加わったワーキングユニフォーム

「WM-Bizz」年間	上下で税込5,000円	約7.8万着
「制電3Dカット」年間	上下で税込4,800円	約10万着
「Wフラップ」防寒ブルゾン	税込2,900円	約9.5万着

・需要予測発注システム

2018年12月末時点で 約200店舗が稼働

⇒ 稼働中店舗の売上伸び率 全店比 3ポイント程度アップ



「WM インパクト」年間
上下で税込3,400円



「WM CRAFT」年間
上下で税込3,000円



「制電3Dカット」年間
上下で税込4,800円



「WM Bizz」年間
上下で税込5,000円



「WM COOL」夏用
上下で税込3,000円



「WM STRETCH」夏用
上下で税込3,000円

法人営業向けワーキングユニフォーム
主なラインアップ

プライベート・ブランド(PB)商品の展開

高機能ウェアの開発・販売で客層拡大を図る

- 2019年3月期計画
 - ・PB商品売上高 330億円(前期比 +29%)
- 2018年4月～12月実績
 - ・PB商品売上高 290億 59百万円(前年同期比+45.4%)
 - ・PB比率 39.9%(前年同期比+7.8ポイント)
- ブランド別販売状況(2018.4月～12月)



ブランド名	アイテム数(前年)	販売点数 (前年同期比)	販売金額 (前年同期比)
アウトドア向け「 FieldCore 」	122 (64)	256万点 (+88.6%)	60億42百万円 (+88.1%)
スポーツ向け「 Find-Out 」	102 (35)	274万点 (+228.5%)	30億18百万円 (+197.3%)
高機能防水防寒「 AEGIS 」	36 (23)	37万点 (+46.2%)	18億39百万円 (+99.5%)
合計	260 (122)	568万点 (+131.8%)	109億円 (+111.7%)

新業態店「ワークマンプラス」について

■ 出店方針

- ・ショッピングセンター（SC）・ロードサイドともに「ワークマンプラス」業態で出店
- ・ショッピングセンターは、広告塔の役割を担う
- ・ロードサイドは一般客とプロ顧客の比率50:50を想定
⇒開店後プロ比率が高まれば作業服売場を拡張

■ ワークマンプラス出店形態別計画 2020年3月末65店舗

	2019年3月末	2020年3月末
SC	3店舗	10店舗
ロードサイド	6店舗	35店舗
既存店改装	3店舗	20店舗
合計	12店舗	65店舗



ららぽーと立川立飛店9/5開店



川崎中野島店 11/8開店

第3四半期決算の概要

2019年3月期決算の見通し

取組み状況

● 第3四半期決算の詳細

貸借対照表1

<単位:百万円>

資産の部	2018年 3月期末	2019年3月期 第3四半期末	増減	増減要因
流動資産	51,916	58,843	6,927	
現金及び預金	38,174	45,144	6,970	税引前四半期純利益 118億67百万円 未払金増加 13億69百万円 たな卸資産の減少 5億12百万円 法人税等支払額 △42億85百万円 有形固定資産の取得による支出 △9億13百万円 配当金支払額 △23億65百万円
加盟店貸勘定	6,303	6,273	△29	対象店舗が 8店舗減少(620店舗→612店舗)
商品	6,477	5,974	△503	店舗在庫 5億5百万円減少、流通センター在庫 3億46百万円減少、 海外仕入の未着商品 3億1百万円増加、直販部在庫 13百万円減少 オンラインストア在庫 60百万円増加
固定資産	21,330	21,101	△229	
有形固定資産	14,913	15,029	116	
建物(純額)	7,850	7,957	106	出店・閉店状況 出店16店舗(S&B2店舗を含む)、閉店3店舗
土地	3,988	3,988	—	出店形態 建物リース4店舗、土地リース10店舗、建物賃貸借2店舗
その他(純額)	3,074	3,083	9	
構築物(純額)	1,314	1,301	△13	
工具・器具・備品(純額)	820	922	102	
リース資産(純額)	908	834	△74	
無形固定資産	288	265	△22	
投資その他の資産	6,129	5,806	△322	
差入保証金	4,498	4,308	△190	建物リース契約での地主への建設協力金の返済
繰延税金資産	962	864	△98	「税効果会計に係る会計基準」の適用
資産合計	73,246	79,945	6,698	

貸借対照表2

<単位:百万円>

負債/純資産の部	2018年 3月期末	2019年3月期 第3四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	10,932	12,581	1,649	
買掛金・加盟店買掛金	3,955	3,953	△1	
未払法人税等	2,408	2,552	143	
その他	3,176	4,694	1,518	
未払金	1,753	3,020	1,266	加盟店分配金 6億56百万円、販売促進費 4億2百万円 契約終了加盟店との未精算分で2億20百万円 未払法人税等1億43百万円
固定負債	2,936	2,895	△40	
長期預り保証金	854	834	△19	
資産除去債務	1,013	1,084	70	
その他	1,067	976	△91	
リース債務	1,050	967	△83	
負債合計	13,868	15,477	1,609	
株主資本	59,433	64,429	4,996	
純資産合計	59,378	64,467	5,088	自己資本比率80.6% 0.5ポイント低下
負債純資産合計	73,246	79,945	6,698	

損益計算書1

<単位:百万円、%>

	2018年3月期 第3四半期累計期間		2019年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	11,279		13,402		+18.8	
加盟店からの収入	8,945		10,940		+22.3	加盟店期中平均店舗数 前第3四半期 675店舗、当第3四半期 712店舗 37店舗増 加盟店売上高 前第3四半期 556億51百万円、当第3四半期 654億76 百万円 17.7%増 荒利率・・・前第3四半期35.8%、当第3四半期36.0%
その他の営業収入	2,334		2,462		+5.5	国内メーカーからの仕入高(直買仕入等を除いた)前期比6.8% 増で業務受託収入1億19百万円増加
売上高	32,220		37,221		+15.5	
直営店売上高	6,789	(100.0)	7,550	(100.0)	+11.2	直営店期中平均店舗数113店舗 ⇒18店舗減少も販売好調のため
加盟店向け商品供給売上高	25,430		29,670		+16.7	加盟店売上高 前年同期比17.7%増
営業総収入	43,500	100.0	50,624	100.0	+16.4	
直営店売上原価	2,177	5.0	1,372	2.7	△37.0	
加盟店向け商品供給売上原価	25,430	58.5	29,670	58.6	+16.7	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	27,608	63.5	31,043	61.3	+12.4	

損益計算書2

<単位:百万円、%>

	2018年3月期 第3四半期累計期間		2019年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(4,611)	(67.9)	(6,177)	(81.8)	+34.0	直買仕入31.8%増加、ドル建て平均支払レート1円65銭減少
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	15,891	36.5	19,580	38.7	+23.2	
販売費及び一般管理費	7,388	17.0	8,622	17.0	+16.7	増減要因 人件費 約1億14百万円増加 販売費 約2億89百万円増加 流通センター運営費用 約3億90百万円増加 店舗改装什器 約2億71百万円増加 本部移転費用 約43百万円増加 公租公課など一般管理費 約3億20百万円増加 直営店期中平均店舗数減少(18店舗) 約1億88百万円減少 車両経費など一般管理費 約5百万円減少
営業利益	8,503	19.5	10,958	21.6	+28.9	
営業外収益	944	2.2	971	1.9	+2.8	
営業外費用	45	0.1	42	0.1	△7.0	
経常利益	9,402	21.6	11,887	23.5	+26.4	
特別損失	6	0.0	19	0.0	+191.1	固定資産除却損 18百万円計上 減損損失 閉店3店舗で約1百万円計上
四半期純利益	5,843	13.4	7,363	14.5	+26.0	

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564(JASDAQ)

お問い合わせ先: 財務部IRグループ

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>